



秋厚労ニュース

NO1799号

2017年10月26日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

良い職場づくりは

現状を訴えること

第31回秋田県医療研究集会

去る10月21日(土)、大仙市の「ユメリア」にて第31回秋田県医療研究集会が開催され、46名(秋厚労8名)が参加しました。大原記念労働科学研究所の佐々木司さんの講演で、良い職場をつくるには現状を訴え、運動に参加することが大切と学びました。



今回の医療研は、講演が3本ありました。

日本医労連中央執行委員長の森田しのぶさんは、今年1月に出席された「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」に関して「労働時間の管理は雇用主の責務、今こそ労働時間の管理を徹底させましょう」と参加者に訴えました。

今こそ労働時間の管理を



佐々木司さん

「それが目的」と述べました。

明らかに人手不足

佐々木司さんは、「日本医労連2017看護職員の労働実態調査」の結果から、全国と比較した秋田県の特徴を報告しました。

「仕事量が大幅に増えた」「休憩時間がきちんととれていない」と答えた人の割合が、全国平均を上回りました。仕事内容が変化した業務がきつくなっていることや、たくさんのお患者さん

まとめでは、一つ目に、スタッフの業務負担が均一になるように管理職が仕事を振り分ける。二つ目は、臨床検査技師、薬剤師などの他職種と話し合い

日本医労連2017看護職員の労働実態調査結果から

仕事量が大幅に増えた(%)

	全国	秋田県
一般病棟	24.2	32.8
精神病棟	20.4	58.8
外来・透析	16.9	20.5
集中治療室	17.1	15.9
手術室	18.6	22.2
訪問看護	13.8	15.6

休憩時間3交替「日勤」(%)

	全国	秋田県
取れている	24.7	15.5
大体取れている	57.9	59.1
あまり取れていない	16.5	24.0
取れていない	1.0	1.4

メンタル障害の治療・休職(%)

	全国	秋田県
いる	28.5	24.4
いない	39.7	41.0
わからない	30.3	33.4

んを少数人数でみていることが推測されるとして、明らかに人手不足と指摘しました。

困っているスタッフに

気づく職場にしよう

さらに、「メンタル障害で休んだり、治療を受けている仲間がいるか」について「わからない」と答えた割合が全国平均より高いことに注目。「問題なのは周りに注意を配れないほど気持ちに余裕がない。困っているスタッフに気づける職場をつくろう」と話しました。

看護師としての仕事を整理

をしてお互いの仕事を理解しあう。三つ目として、本来の看護は自主的な活動、しかし、病院での看護は労働であり、看護師としての仕事を整理するのが重要と、解決策が提案されました。

働きやすい職場をつくるには、自分達が運動に参加して、現状を訴えていくことが大切と呼び掛けました。